

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
32213	道後温泉活性化事業	産業経済部	道後温泉事務所	2
32213	道後温泉地域振興事業補助事業	産業経済部	道後温泉事務所	3
32213	道後村まつり事業補助事業	産業経済部	道後温泉事務所	4
32221	浴場管理事業	産業経済部	道後温泉事務所	5
32221	物品販売事業	産業経済部	道後温泉事務所	6
32221	源泉管理事業	産業経済部	道後温泉事務所	7
32221	源泉井戸及び分湯場施設改修事業	産業経済部	道後温泉事務所	8
44121	道後温泉本館保存修理寄附推進事業	産業経済部	道後温泉事務所	9
44121	道後温泉本館保存修理事業	産業経済部	道後温泉事務所	10

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉活性化	連絡先	921-6464	
部長等名	西村 秀典	課等長名	兵藤 一馬	リーダー	泉 正三	担当	徳岡 秀俊	原田 恭子

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉活性化事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32213								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	○	
施策	観光産業の振興							
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令	道後温泉活性化計画				
取組みの柱	道後温泉地域の活性化							
目的・背景	<p>目的:観光客数の減少や経済的影響を最小限にする必要があるため、「道後温泉活性化計画」、「魅力の向上、賑わい創りの総合的な対策」、「道後温泉本館工事計画の基本方針」などにに基づき、道後温泉地区を活性化する取組を行う。</p> <p>背景:観光地間競争の激化や、道後温泉本館の保存修理に伴い観光産業や地域経済への影響が予想される。</p>							
対象・内容	<p>平成27年5月に「道後温泉活性化計画」及び「魅力向上・賑わい創りの総合的な対策」を、平成28年10月には「道後温泉本館工事計画の基本方針」を策定し、本館保存修理工事による経済的影響緩和に向けた取組を行う。</p> <p>・未来へつなぐ道後まちづくり実行委員会に負担金を交付し、道後温泉本館保存修理工事期間中、「道後アート事業」と「観光資源化事業」の特長を活かし、統一したコンセプトで「未来へつなぐ道後まちづくり事業」に地域全体で取り組み、本館保存修理工事による経済的影響を緩和させる。</p> <p>・地元団体(道後温泉旅館協同組合、道後商店街振興組合・愛媛大学等)に「道後温泉活性化まちづくり促進補助金」、「伊佐庭如矢顕彰事業」などを通して補助金を交付し、協働事業に取り組み、道後温泉地区の賑わい創出を図る。</p>							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	170,790	158,632	158,531		主な経費 (千円) 【R4決算】	負担金(未来へつなぐ道後まちづくり事業開催等)		128,063
	国費・県費		62,985	58,500				委託料	13,410
	市債							需用費(印刷製本費等)	3,053
	その他	124,000	57,500	60,000					
	一般財源	46,790	38,147	40,031					
決算 (千円)	事業費計	155,512	152,216			主な取組内容 【R4】	・未来へつなぐ道後まちづくり事業(「道後オンセナート2022」を開催し、アート作品の展示やイベントなどを実施した) ・持続可能な道後温泉協議会事業(産官学が連携し、ひみつジャナイ基地の運営やフィールドワーク、体験イベント等の開催により賑わい創出やSDGsの推進に取り組んだ)		
	国費・県費	57,050	63,951						
	市債	0							
	その他	0	58,500						
	一般財源	98,462	29,765						
人役	正規職員	6.0	6.0	5.0		特記事項			
	その他	0.0	1.0	0.0					
	合計	6.0	7.0	5.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	アート作品数 (プロジェクト実施回数)	目標	50	50	50	50	「道後オンセナート2022」を開催するなど、時機を逸することなく各種プロジェクトを実施し、積極的に誘客に取り組み、目標を達成できた。	
		実績	53	91				
	現状維持	件	達成率	106.0%	182.0%			
成果指標	道後地区の宿泊者数	目標	800000	800,000	800,000	800,000	道後温泉地区の魅力高め話題性を創出し、賑わいの創出に努めたが、コロナ禍による観光需要の減退などの影響で目標達成には至らなかった。	
		実績	375,683	687,982				
	単年で増	人	達成率	47.0%	86.0%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	平成24年度より事業を予算化し、「道後温泉活性化計画」などに基づいて、道後温泉地区への誘客に取り組み、本市観光客数の増加に努めた。本事業は予定通り進捗しており、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、時機を逸することなく各種プロジェクトやアート作品展示などを実施し、道後温泉本館保存修理工事の観光資源化、道後温泉地区の魅力創出、関係人口拡大の取組などを積極的に進め、道後温泉地区の宿泊者数は前年から大きく増加した。						
課題	コロナ禍からの回復でインバウンドを含む観光需要が高まる中、観光地の地域間競争はこれまで以上に激しくなる。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、道後温泉ならではの魅力づくりや話題性の創出に取り組み、道後温泉地区の賑わいを生み出し、本市や道後への誘客につなげるため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	921-5141	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	三神 正裕	担当	鈴木 拓人	

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉地域振興事業補助事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32213								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			-	-	-	-	
施策	観光産業の振興							
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令	松山市補助金等交付規則、道後温泉地域振興事業補助金交付要綱				
取組みの柱	道後温泉地域の活性化							
目的・背景	目的:道後温泉振興事業にかかる初子祭に対して、補助金を支出し、道後温泉及び道後地区の発展と活性化を図るとともに、市民や観光客に憩いの場を提供するため。 背景:道後を代表する伝統行事である初子祭を保存・継承していくとともに、道後温泉の活性化を図るため。							
対象・内容	道後温泉地域振興会に対して補助を行う。							

2. 事業実施【Do】

会計		道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	総務管理費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
予算 (千円)	事業費計	0	450	450	主な経費 (千円) 【R4 決算】	補助金		450
	国費・県費							
	市債							
	その他	0	450	450				
	一般財源							
決算 (千円)	事業費計	0	450		主な取組 内容 【R4】	道後温泉地域振興事業補助金の交付		
	国費・県費							
	市債							
	その他		450					
	一般財源							
人役	正規職員		1.0	1.0	特記 事項	特になし		
	その他		1.0	1.0				
	合計	0.0	2.0	2.0				

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
成果 指標	初子祭の参加人数	目標	-	5,000	5,000	5,000	3年ぶりに初子祭が開催され、地域住民や市民、観光客の方々が多く参加されたため	
		実績	-	10,000				
	単年で増	人	達成率	-	200.0%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	たくさんの方々に参加いただき、道後地域の活性化につなげることができたため						
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	道後温泉地域の伝統行事を保存、継承するため	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	921-5141	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	三神 正裕	担当	鈴木 拓人	

1.事業概要【Plan】

事業名	道後村まつり事業補助事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32213								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			-	-	-	-	
施策	観光産業の振興			-	-	-	-	
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令	松山市補助金交付規則、道後村まつり事業補助事業補助金交付要綱				
取組みの柱	道後温泉地域の活性化							
目的・背景	<p>目的:歴史ある湯釜薬師祭等を開催する道後村まつり事業に対して、補助金を支出することにより、道後温泉の活性化を図るとともに、市民及び観光客に憩いの場を提供するため。</p> <p>背景:湯釜薬師祭は、明治27年の道後温泉本館改築の際に、新しい湯釜を造ったことを機会に古い湯釜を道後公園へ移し、地域住民が湯釜として祭ったことが始まりとされている。湯釜薬師祭等が開催される道後村まつりを通じて、行政と道後地域住民が一体となって活性化を図るために補助金事業を導入した。</p>							
対象・内容	道後村まつり実行委員会に対して、補助を行う。							

2.事業実施【Do】

		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	総務管理費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	補助金		230
予算(千円)	事業費計	0	230	230					
	国費・県費								
	市債								
	その他	0	230	230					
	一般財源								
決算(千円)	事業費計	0	230			主な取組内容【R4】	道後村まつりの補助金の交付		
	国費・県費								
	市債								
	その他		230						
	一般財源								
人役	正規職員		1.0	1.0		特記事項	特になし		
	その他		1.0	1.0					
	合計	0.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	村まつり開催時の商店街利用者数	目標	-	5,000	5,000	5,000	3年ぶりに道後村まつりが開催され、地域住民や市民、観光客の方々が多く参加されたため		
		実績	-	7,400					
	単年で増	人	達成率	-	148.0%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	たくさんの方々に参加いただき、道後地域の活性化につなげることができたため							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	道後温泉地域の伝統行事を保存、継承するため		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	921-5141	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	三神 正裕	担当	岡林 彩	

1.事業概要【Plan】

事業名	浴場管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		-	-	-	-	
施策	観光産業の振興						
主な取組	受入体制の整備	根拠法令	松山市道後温泉事業施設の設置及び管理に関する条例				
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	目的:道後温泉本館の効率的な運営を行うとともに、本館保存修理工事による営業形態の変更等に対応し、また、来館者が気持ちよく施設を利用できる環境を整える。 背景:道後温泉本館など公営公衆浴場を財産区から松山市に編入し運営している。						
対象・内容	道後温泉本館の利用者に対し、入浴などのサービスを提供する。効率的な運営を図るため、道後温泉本館の運営を業務委託している。また、飛鳥乃湯泉の運営は、椿の湯の運営と合わせて指定管理者制度を導入している。浴用物品、チケットの印刷等、施設利用者にサービスを提供するための物品を発注した他、道後温泉本館は、キャリアサポート株式会社へ委託料を支出、飛鳥乃湯泉と椿の湯は道後温泉コンソーシアムに指定管理料を支出した。						

2. 事業実施【Do】

		会計	道後温泉特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	浴場管理費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	道後温泉別館等指定管理料		286,045
予算(千円)	事業費計	419,220	543,903	531,700			本館管理業務委託		115,093
	国費・県費						本館清掃業務委託		9,874
	市債								
	その他	419,220	543,903	531,700					
一般財源									
決算(千円)	事業費計	381,713	454,238			主な取組内容【R4】	道後温泉3館の効率的な運営に取り組む。浴場に必要物品等の調達、清掃や施設の営繕工事などを行う。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	381,713	454,238						
一般財源									
人役	正規職員	6.0	6.0	6.0		特記事項			
	その他	1.0	1.0	2.0					
	合計	7.0	7.0	8.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	浴場使用料	目標	173,121	286,900	342,400	342,400	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館が皆減したため	
		実績	191,800	322,870				
	単年で増	千円	達成率	110.8%	112.5%			
			目標					
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、来館者の満足度の向上に努めた。						
課題	多くのお客様に道後温泉本館を快適に利用していただき、松山市の観光産業振興に寄与する。また、保存修理工事期間中ならではのPRを展開し、飛鳥乃湯泉、椿の湯も含めて、入浴客数の増加につなげる。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	入浴客の満足度を向上させ、入浴客数の増加に努める。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	089-921-5141
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	三神 正裕	担当	濱井 里穂

1. 事業概要【Plan】

事業名	物品販売事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営
32221		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		-	-	-	-
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					
施策	観光産業の振興	根拠法令				
主な取組	受入体制の整備					
取組みの柱	おもてなしの場の充実					
目的・背景	目的:道後温泉本館の入浴客に対するサービスとして、タオルや石鹸等の入浴用品を販売し、満足度向上を図るとともに収益を上げるため。 背景:入浴客のニーズに対応したサービス提供及び入浴記念としての商品販売を開始した。					
対象・内容	入浴客向けに売店商品を販売するために、売店商品の仕入れを行う。					

2. 事業実施【Do】

		会計	道後温泉特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	浴場管理費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	消耗品費(売店商品の仕入れ)		6,740
予算(千円)	事業費計	4,880	6,960	12,271					
	国費・県費								
	市債								
	その他	4,880	6,960	12,271					
一般財源									
決算(千円)	事業費計	4,321	6,740			主な取組内容【R4】	タオル、石鹸等の入浴用品を仕入・販売する		
	国費・県費								
	市債								
	その他	4,321	6,740						
	一般財源								
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記事項	当初の見込みより販売できたため		
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	3.0	3.0	3.0					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	売店売上金(本館)	目標		9,600,000	10,061,000	11,700,000	11,700,000	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館が皆減したため	
		実績		8,560,721	14,562,854				
	単年で増	円	達成率	89.2%	144.7%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道後温泉本館内売店等で入浴用品を販売するほか、みかん石けんなど本館オリジナル商品を販売し、道後温泉ブランドのPRに努めた。							
課題	道後温泉本館保存修理工事に伴い、売店商品を販売できるスペースが減少しているため、限られたスペースや商品の中でも、入浴客の満足度が向上するよう、検討していく。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	入浴客の満足度を向上させるために、物品販売を行う。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	施設管理	連絡先	921-5151	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	山田 豊樹	担当	小泉 直之	中川 裕介

1.事業概要【Plan】

事業名	源泉管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
32221								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	都市全体の価値や魅力を向上する				-	-	-	-
施策	観光産業の振興							
主な取組	受入体制の整備			根拠法令				
取組みの柱	おもてなしの場の充実							
目的・背景	目的:道後温泉に来られた市民や観光客の方々へ心地よく利用していただくため、源泉の安定供給が出来るよう源泉設備を整備すること。 背景:道後温泉本館など公営公衆浴場を財産区から松山市に編入し運営している。							
対象・内容	既存源泉18カ所及び既設分湯場の4カ所を対象として、安定的な源泉管理及び維持管理を図る。 道後温泉第2分湯場上がり湯ポンプ修繕工事の工事請負費を支出 そのほか源泉管理に必要な修繕に工事請負費を支出							

2. 事業実施【Do】

会計		道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	施設整備費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な経費(千円)【R4決算】	光熱水費	工事請負費	委託料
予算(千円)	事業費計	36,204	36,760	48,840				
	国費・県費							
	市債							
	その他	36,204	36,760	48,840				
	一般財源							
決算(千円)	事業費計	33,998	33,482		特記事項			
	国費・県費							
	市債							
	その他	33,998	33,482					
	一般財源							
人役	正規職員	4.0	5.0	4.0				
	その他							
	合計	4.0	5.0	4.0				

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	設備の点検実施回数	目標	4	3	2	2	設備の事後保全や予防保全のための点検について計画どおり、実施することができた。	
		実績	4	3				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	設備の突発的な故障に対処し、突発故障を極力抑えるために、予防保全を計画的に実施することで、源泉の安定供給につなげた。						
課題	源泉井戸及び分湯場施設改修事業で予防保全的な設備更新を実施し、突発的な費用の縮減につなげる。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	源泉の安定供給を行うために突発的な修繕は少なからず発生するため、現行のまま計画を維持し、費用縮減に努める。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	施設管理	連絡先	921-5151	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	山田 豊樹	担当	小泉 直之	中川 裕介

1.事業概要【Plan】

事業名	源泉井戸及び分湯場施設改修事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
32221								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			-	-	-	-	
施策	観光産業の振興			-	-	-	-	
主な取組	受入体制の整備		根拠法令					
取組みの柱	おもてなしの場の充実							
目的・背景	<p>目的:老朽化している源泉井戸及び分湯場を順次改修することにより、温泉の揚湯量を確保すること。                  背景:平成20年度に「道後温泉源泉井戸及び配湯施設改良基本計画」10ヵ年分を策定、令和2年度に、「道後温泉源泉井戸及び配湯施設等の改修実施計画」12ヵ年分を策定し、老朽化した源泉や分湯場の改修を計画的にすすめている。</p>							
対象・内容	<p>既存源泉18カ所及び既設分湯場の4カ所を対象として、安定的な源泉管理及び維持管理を図る。                  そのほか源泉管理に必要な修繕に工事請負費を支出</p>							

2. 事業実施【Do】

会計		道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	源泉管理事業
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度				
予算 (千円)	事業費計	23,137	8,500	12,000	主な経費 (千円) 【R4決算】	工事請負費		8,483
	国費・県費							
	市債							
	その他	23,137	8,500	12,000				
	一般財源							
決算 (千円)	事業費計	22,882	8,483		主な取組内容 【R4】	第2分湯場の温水槽の水位計の更新。 11号源泉の送湯ポンプの更新など源泉や分湯場の機器類の更新。		
	国費・県費							
	市債							
	その他	22,882	8,483					
	一般財源							
人役	正規職員	4.0	5.0	4.0	特記事項			
	その他							
	合計	4.0	5.0	4.0				

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和13年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	道後温泉源泉井戸及び配湯施設等の改修の実施	目標	目標	2	2	2	2	突発の故障を優先対応し、計画工事を延期したため。
		実績	実績	2	0			
		現状維持	件	達成率	100.0%	0.0%		
		目標	目標					
		実績	実績					
		達成率	達成率					
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	突発の故障を対応したが、道後温泉源泉井戸及び配湯施設等の改修実施計画については翌年度以降に実施する。						
課題	物価高騰や設備の突発故障などで一部計画と乖離が出てきている。			今後の方向性	一部見直し	左記の理由	突発の故障を対応しながら、一部修正を予定する。	



令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	921-5141	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	三神 正裕	担当	濱井 里穂	

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉本館保存修理寄附推進事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営
44121				各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】				-	-	-	-
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む							
施策	文化遺産の継承			根拠法令				
主な取組	道後温泉本館の保存修理							
取組みの柱	道後温泉本館保存修理							
目的・背景	目的:道後温泉本館保存修理工事に要する経費について、市内外に広く寄附を募り、本市が誇る国の重要文化財を未来に遺す機運の醸成を図る。 背景:平成31年1月以降に開始した道後温泉本館保存修理工事に要する一般会計負担見込額の部分的な軽減を図るため。							
対象・内容	道後温泉本館保存修理工事の意義に賛同していただける市内外の方に寄附を募る。 ふるさと納税を活用したクラウドファンディングで、市内外に広く寄附を募るとともに、返礼品として、入浴優待券や道後街歩きクーポン等を進呈することで、誘客や地域経済の活性化につなげていく。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	返礼品等報償費		681
予算(千円)	事業費計	7,427	6,247	4,977			クラウドファンディングサイト利用等手数料		293
	国費・県費						広報用のチラシ等印刷製本費		108
	市債								
	その他								
	一般財源	7,427	6,247	4,977					
決算(千円)	事業費計	2,211	1,223			主な取組内容【R4】	・返礼品等の送付 ・チラシ、SNS等を活用した広報活動		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,211	1,223						
人役	正規職員	1.0	2.0	2.0		特記事項	寄附額の見込みが難しいため		
	その他	1.0	1.0	2.0					
	合計	2.0	3.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	寄附額		目標	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	返礼品の魅力向上を図る等の取組みを行ったことにより目標を達成できた。
			実績	5,627,884	5,218,555			
	単年で増	円	達成率	112.6%	104.4%			
			目標					
			実績					
			達成率					
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	SNSやホームページを活用して、積極的に道後温泉本館保存修理工事の情報を発信したほか、道後温泉旅館協同組合や道後商店街振興組合等と連携した魅力ある返礼品の新設など事業の賛同を多く得ることができたため。						
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和6年度まで保存修理工事が続くため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	施設管理	連絡先	921-5151	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	山田 豊樹	担当	小泉 直之	中川 裕介

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉本館保存修理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
44121								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む							
施策	文化遺産の継承			-	-	○	-	
主な取組	道後温泉本館の保存修理		根拠法令					
取組みの柱	道後温泉本館保存修理							
目的・背景	<p>目的:重要文化財道後温泉本館は、改築から120年以上経過し、老朽化、耐震性が懸念されることから、その文化的価値を維持・継承するため、耐震補強・保存修理工事をするもの。</p> <p>背景:松山市道後温泉活性化審議会を平成24年5月に設置、また工事中の経済的影響が懸念されることから、平成26年度から文化財や耐震設計に精通した学識経験者を保存修復専門委員に選任し、地盤調査や建物調査の詳細設計を実施するとともに、最新の解析技術を活用した精度の高い耐震補強設計を検討してきた。</p>							
対象・内容	<p>平成31年1月15日から営業しながらの道後温泉本館保存修理工事に着手、総事業費約26億円、令和6年度末までの工期を計画している。前期工事として又新殿・霊の湯棟、南棟東側、玄関棟内部が工事範囲であったが、令和3年7月15日より後期営業を開始した。令和4年度は後期工事として、事務所棟、神の湯本館棟、南棟西側、玄関棟などの解体、調査、補強工事を実施。工事の請負業者である門屋組・成武建設・富士造型特定建設工事共同企業体に対して、道後温泉本館保存修理工事の工事請負費を支出。監理委託している公益財団法人文化財建造物保存技術協会に対して、保存修理工事の監理委託料を支出。</p>							

2. 事業実施【Do】

		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	施設整備費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	工事請負費		307,824
予算(千円)	事業費計	622,697	635,749	579,208					
	国費・県費	252,880	257,999	233,500					
	市債	90,700	100,400	74,200					
	その他	279,117	277,350	271,508					
一般財源									
決算(千円)	事業費計	406,981	632,096			主な取組内容【R4】	事務所棟、神の湯本館棟、南棟西側、玄関棟などの解体、調査、補強工事を実施。		
	国費・県費	164,222	169,341						
	市債	58,900	100,400						
	その他	183,859	362,355						
一般財源									
人役	正規職員	4.0	5.0	4.0		特記事項			
	その他								
	合計	4.0	5.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	道後温泉本館保存修理事業進捗率	目標	目標	50	60	70	100	平成31年1月15日から営業しながらの道後温泉本館保存修理工事に着手し、観光や地域への影響に配慮しながら、令和6年末の完了を目指して、保存修理工事は計画通り進捗できている。
		実績	実績	50	67.6			
		累計で増	%	達成率	100.0%	112.7%		
		目標	目標					
		実績	実績					
		達成率	達成率					
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	保存修理工事は、工程表通り進めることができた。また、全館営業開始に関しては、工事業者等関係者のご協力ですべて予定より約半年前倒しすることができた。						
課題	令和6年7月の前回営業までに工事を完了できる用途は立ってきた。引き続き姫塚事務所の調査作業を工事工期内に完了させるよう、進捗管理を行う。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	工事は、工程表通り進めているので、このまま現状維持できるように進捗管理を行う。	